

高信頼性ICタグ

誰かが安全と言ったからではなく

世の中のシステムが複雑になっていくと、専門化、分業化がどんどん進んでいく反面、なかなか全体像を把握することは難しい時代になっています。超小型ICタグチップが発明されたのは1998年12月ですが、かれこれ15年が過ぎていきます。

それから毎年のように大きな事件、災害に日本、世界は巻き込まれていますが、この傾向はまだまだ続きそうです。もっと、事件、災害のない世の中はできないのかその度に考えてきてはいますが、未だに抜本策はないに等しい。

日本の新幹線技術は世界に誇る技術。また大型飛行機はアメリカ、ヨーロッパが誇る技術。高速で移動する乗り物がいかに安全に運航できるか、日夜その保守に努力されている人々のご苦労を思うと頭が下がります。

JALが飛行機の荷重チェックシステムでトラブルを起こして大量の欠航を発生してしまいましたし、いつ何が起こるか予断を許しません。誰かが安全と言ったからではなく、どうすれば安全が保たれるか真剣に考えたいものです。(株)R&Vの高信頼性ICタグは皆様のご期待に応えるよう努力して参ります。